

卒業論文作成の流れ

卒業論文提出まで残り約7か月となりました。今回は、特に卒業論文を提出するまでを中心に、私が卒業論文を作成していく中で感じた反省点を踏まえてお話しさせていただきたく思います。

【今後の主な予定】

2015年10月上旬 卒業論文題目提出

2016年 1月（お正月明けすぐ）卒業論文提出、2月 口述試問

【計画を立ててみる】

◎ 6月から9月（夏休み明けまで）にしておきたいこと

① 論文のテーマを考える

自分の興味や関心はどこにあるのか。これまでに受講した講義やゼミでの学びを振り返ってみることをお勧めします。自分が担当した発表テーマから感じた疑問を参考にされることも良いと思います。論文提出まで書き続けるため、自身の問題意識を大切にしましょう。また、指導の先生方とご相談してタイトルを考えていくことも重要です。

② 資料収集・整理する

大まかなテーマが決まり、資料を集める段階になったら、関連する本や論文を探してみましょう。その際、大学図書館蔵書検索や論文検索を利用しましょう。

また、本や論文を読みその中で引用されている文献も参考にされると良いと思います。各ゼミにおいて、途中経過報告や発表の機会が必ずありますので、夏休みが終わるまでには主な資料収集を終えておきましょう。

◎ 9月～卒業論文提出までの計画

③ 題目を決定する

10月上旬の「題目提出」後は変更することができないため注意しましょう。そのため、この時点では①②を確実にしておきましょう。

④ 卒業論文を執筆する

卒業論文は「題名、目次、序論・本論・結論、註、参考文献」という体裁が必須ですが、論文を執筆していく際は、書けるところから進めていきましょう。また執筆を進めていくなかで、自分が書いた文章は不要だと思っても、削除せずに保存しておきましょう。初期の疑問が困った際のヒントとなるかもしれません。

そして、提出前に慌てることのないよう、書式設定は出来るだけ早く済ませておくことをお勧めします。目次の作り方や註の記載方法等、体裁を「卒業論文作成マニュアル」をよく読み確認しておくことをお勧めします。就職活動などそれぞれの事情がある中で、論文を作成していくことは大変ですが、自分にとって納得のできる卒業論文となるよう現段階から意識づけ、取り組みましょう。